

まちづくりチャレンジ協働事業補助金交付申請書

2022年 4月15日

NPO 法人

恵庭市市民活動センター運営協議会

理事長 様

団体名 恵庭市フラワーマスター協議会

代表者名 池永 允子

住所

電話

恵庭市まちづくりチャレンジ協働事業補助金の交付を受けたいので、恵庭市まちづくりチャレンジ協働事業補助金交付要綱に基づき交付された補助金の交付に関する事務手続き要領第4条の規定により関係書類を添えて次のとおり申請します。

協働事業の名称	'はなふる'での庭づくり講習会開催事業		
協働事業費の総額	210,000円	補助金交付申請額	150,000円
事業実施団体数	単独・ <input checked="" type="checkbox"/> 複数(団体数 2)	本事業での提案回数	2 回目
協働する担当課	経済部花と緑・観光課 担当者:安ヶ平悠斗(内線 2525)		
提案事業の内容	実施期間 2022年4月10日から2022年11月20日まで 「はなふる」内のモデルガーデン「暮らしを惠む庭」の通年管理を利用し、予め募集した市民を対象に種蒔き・育苗・植栽管理・野菜栽培管理・病害虫防除・剪定・越冬準備等の管理技術についての講習を行う。講習は月1回、年間7回、講習参加人数は1回につき10名を予定している。また通年講習とは別に、ひとつのテーマ(キッチンガーデン・寄せ植え・ハンギングバスケット)に絞った単発講習を4回実施する(募集人数は各回10名程度)		
提案事業の目的及び期待される効果	「暮らしを惠む庭」は恵庭における一般住宅の庭をコンセプトにしているため、講習会を通して実際に管理することによって「恵庭市民の庭」としての意識を浸透させる。また、講習での技術習得によって「花のまち恵庭」の基盤である一般住宅ガーデンの数的拡大と質的向上が図られ、恵庭市の「花のまちづくり」の推進に寄与することが期待される。		
提案事業の役割分担	申請団体が担う役割 事業(通年講習)の企画・折衝・広報・実施 担当課が担う役割 広報・連絡調整・事業に参加する市民の窓口 連携団体が担う役割 事業(通年講習)の補助、事業(単発講習)の企画・広報・実施		
添付書類	(1) 団体概要調書(様式第2号) (2) まちづくりチャレンジ協働事業補助金収支予算書(様式第3号) (3) 規約、会則又は定款及び役員名簿等の写し (4) 提案回数が4回目以上の場合は、団体の前年度事業報告、前年度の決算書、本年度の予算書		



様式第2号（第4条関係）

団体概要調書

団体名	(ふりがな)えにわし ふらわーますたー きょうぎかい 恵庭市フラワーマスター協議会		
代表者氏名	(ふりがな)いけなが ちかこ 池永 允子		
事務所の所在地			
連絡先	※連絡責任者の氏名⇒この申請内容について対応できる方		
	氏名	(ふりがな)すぎわか けいいち 杉若 圭一	電話 FAX
設立年月日	平成 10 年 11 月 17 日	会員数	22 名
メールアドレス	なし		
団体ホームページ	なし		
団体の目的	(1) 恵庭の花のまちづくりに貢献する。 (2) 会員相互の親睦を深め、情報の共有を通じ資質の向上を図る。 (3) 花と緑の景観づくりに貢献する。		
主な活動内容 及び実績	<ul style="list-style-type: none"> ・花とも写真展の開催 ・花の写真講習会の開催 ・花とくらし展における花関係出品物製作協力 ・公共スペースでの花苗植栽協力 ・花の拠点はなふるにおけるモデルガーデン造成 		
市や国・道、他の団体から受けている補助金等	• 有 [補助金等の名称： [金額 : 円]] • 無		

※複数の団体で事業を実施する場合は、団体ごとに記入してください。

様式第2号（第4条関係）

団体概要調書

団体名	(ふりがな)えにわはなのまちづくりすいしんかいぎ 恵庭花のまちづくり推進会議		
代表者氏名	(ふりがな)うちくら まゆみ 内倉 真裕美		
事務所の所在地			
連絡先	※連絡責任者の氏名⇒この申請内容について対応できる方		
	氏名	(ふりがな)やすかひら ゆうと 安ヶ平 悠斗	電話 FAX
設立年月日	平成 10年 11月 17日	会員数	21名
メールアドレス	hanatomidori@city.eniwa.hokkaido.jp		
団体ホームページ	なし		
団体の目的	(1) 花のまちづくりの啓発普及 (2) 花のまちづくりのネットワークの形成 (3) 恵庭花とくらし展など花に関するイベントの企画開催 (4) 花のまちづくりの研修及び指導者の育成 (5) その他目的達成のための必要な事業		
主な活動内容 及び実績	<ul style="list-style-type: none"> ・花とくらし展の開催 ・花と縁の講演会の開催 ・花のまちづくりプランの製作・推進 ・花のまちづくりの広報・PR 		
市や国・道、他の団体から受けている補助金等	•有 [補助金等の名称： [金額 : 円]] •無		

※複数の団体で事業を実施する場合は、団体ごとに記入してください。

まちづくりチャレンジ協働事業補助金収支予算書

団体名	恵庭市フラワーマスター協議会
協働事業の名称	「はなふる」での庭づくり講習会開催事業

1. 収入

(単位：円)

項目	金額	説明（積算等）
補助金	150,000	恵庭市まちづくりチャレンジ協働事業補助金
団体拠出金	5,000	団体会計より繰入
通年講習参加費	35,000	500円×10名×7回
単発講習参加費	20,000	500円×10名×4回
合計	210,000	

2. 支出

(単位：円)

項目	金額	説明（積算等）
消耗品費（播種・育苗）	30,000	種・種まき用土・育苗用土・育苗用品等
消耗品費（病害虫防除）	20,000	薬剤・噴霧器等
消耗品費（作業用品）	15,000	挟類・移植こて・ビニール手袋等の補充
消耗品費（苗・肥料）	50,000	花苗・元肥・腐葉土・液肥等
消耗品費（事務費）	40,000	講習会資料印刷用品等
消耗品費（感染症対策）	5,000	消毒用アルコール・体温計等
消耗品費（単発講習）	50,000	寄せ植え用鉢・苗・ワイヤーバスケット等
合計	210,000	

備考) 補助金の交付対象となる事業に要する経費を記入してください。なお、実績報告書の提出時に「まちづくりチャレンジ協働事業補助金収支決算書（様式第14号）」とともに領収証の写しを添付する必要があります。

まちづくりチャレンジ協働事業 事前調整シート

事前調整日	2022年 4月 11日
団体名	恵庭市フラワーマスター協議会
協働担当課	経済部 花と緑・観光課 (担当者名 安ヶ平 悠斗)
事業名	「はなふる」での庭づくり講習会開催事業

提案者の考え方 *事業の内容・思い・提案のきっかけ等	オープンガーデンに代表される一般住宅の花庭は「花のまち恵庭」の基盤的存在であるが、庭主の高齢化に伴って市民ガーデナーの世代交代が早急の課題となっている。一方で、「花のまち恵庭」の中核施設としてオープンした花の拠点「はなふる」は道内一流ガーデナーによるテーマガーデンが主体となつた「眺める庭」的性格が強く、市民の参加形態も課題となっている。そこで、恵庭市フラワーマスター協議会が主体となって造成している「はなふる」内の「暮らしを恵む庭」において市民を対象にガーデニング講習を実施し、「はなふる」を恵庭市民の庭とした意識浸透を図るとともに、新しい庭づくり世代の育成を図って「花のまちづくり」を進める。
担当課の考え方	花の拠点（はなふる）は、道内各地の花観光施設のガーデンを感じられる空間の他、市民にとって生活の中で利用しやすい公園として、リビング的なガーデン空間をコンセプトとしても設計され、市民により花の活動やコミュニティーの場として使用されることも望まれている。昨年は、新型コロナウイルス感染症による公共施設閉鎖のため、講習会の延期や中止はあったが、講習会をきっかけに市内のガーデナーが増え、花のまちづくりに欠かせない繋がりができると考えているため、今年度についても協同事業の展開を進めたい。
確認できた現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・「花のまち恵庭」の基盤であるオープンガーデン軒数及び一般住宅の花庭の数的減少が目立っており、世代交代を含めた対策が必要。 ・花の拠点「はなふる」の有効活用。
確認できた事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「はなふる」内にある「暮らしを恵む庭」においてガーデニング講習を実施して、次世代の市民ガーデナーを育成する。 ・講習は5~11月で通年講習7回、単発講習4回。募集人員は各回10名。 ・講習内容は種まき、育苗、植え付け、剪定や病害虫防除などの一般的な管理を時期の推移に従って座学と実技によって行う。
協働事業で取り組む際の課題	事業の性格上、市民への広報と連絡調整が重要であるが、担当課との役割分担は効率的に機能しており、事業を実施するまでの課題はない。
協働事業で取り組む際の課題に対する解決方法（案）	団体と担当課の協働においては特段の課題はなく、今後も密接な連携によって事業を進める。
※まちチャレに複数回提案している事業について 前回での課題とその解決に向けた取り組み・発展させた取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・前回は応募者が定員を超過したが、次世代ガーデナーを育成するという本事業の性格から「足切り」は行わずに2班に分けて実施した。今回も応募が多い場合は同様に措置する。 ・新型コロナウイルス感染状況によっては実施日の変更も考えられるが、前回同様に順延等の措置で柔軟に対応する。
確認できた役割分担	団体：事業の企画・折衝・実施 担当課：広報・連絡調整・事業に参加する市民の窓口